

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

平成30年10月25日

室蘭開発建設部 広報官

帯広開発建設部 広報官

にしゅうとうげ

日勝峠の通行止め解除から1年後の状況について

～リダンダンシーの確保と沿線地域の賑わい回復～

平成28年の台風10号で被災した国道274号日勝峠^{にしゅうとうげ}について、平成29年10月28日の通行止め解除から1年後の状況をお知らせします。

○通行止め解除1年後の状況（別紙1-1～1-2）

- ・ 国道274号と道東自動車道が相互に補完し、道東と道央をつなぐ幹線道路機能を発揮
- ・ 地域観光の回復に貢献

（参考資料）交通量は通行止め前（H27）の平均交通量と比較し、同水準に回復

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局

室蘭開発建設部 広報官
道路計画課長

工藤 明人（直通 0143-25-7051）
小野寺 仁（直通 0143-25-7046）

室蘭開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>

帯広開発建設部 広報官
道路計画課長

田中 要（直通 0155-24-3193）
西山 泰幸（直通 0155-24-4106）

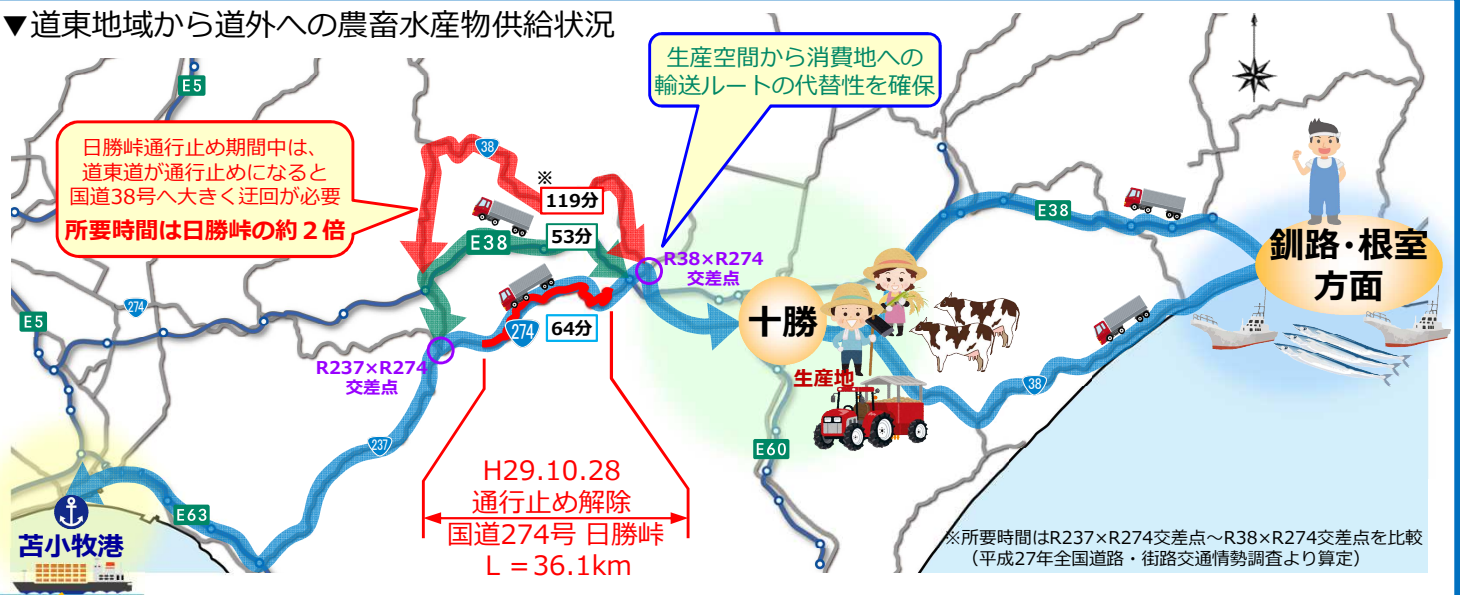
帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>



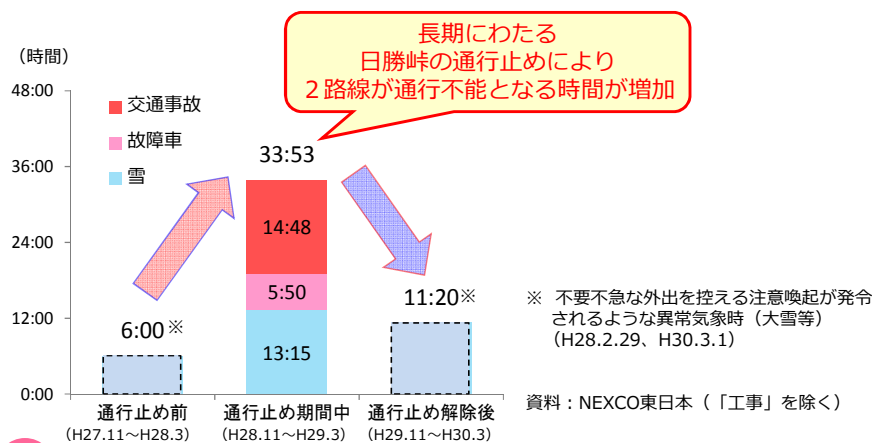
国道274号と道東自動車道が相互に補完し 道東と道央をつなぐ幹線道路機能を発揮

- 日勝峠の通行止め期間中は、道東自動車道が通行止めになると、2路線が通行不能となり、国道38号へ大きく迂回するリスクが高く、十勝産農畜産物や釧路根室産さんま等の輸送に影響。
- 国道274号と道東自動車道が相互に補完し、リダンダンシーが確保されたことで農畜水産物輸送の確実性・安定性が回復。

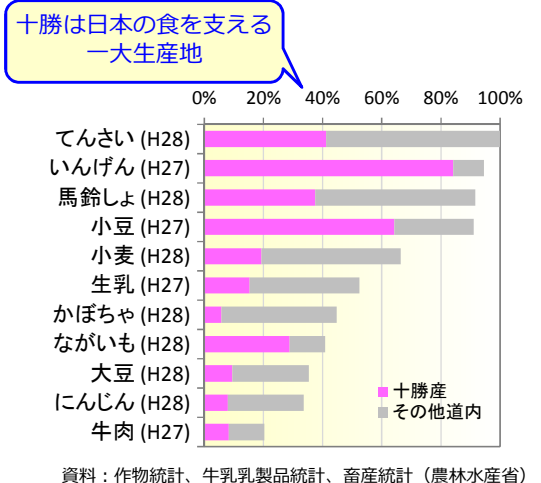
▼道東地域から道外への農畜水産物供給状況



▼冬期において国道274号日勝峠と道東自動車道の2路線が通行不能となる時間



▼主な十勝産農畜産物の全国シェア

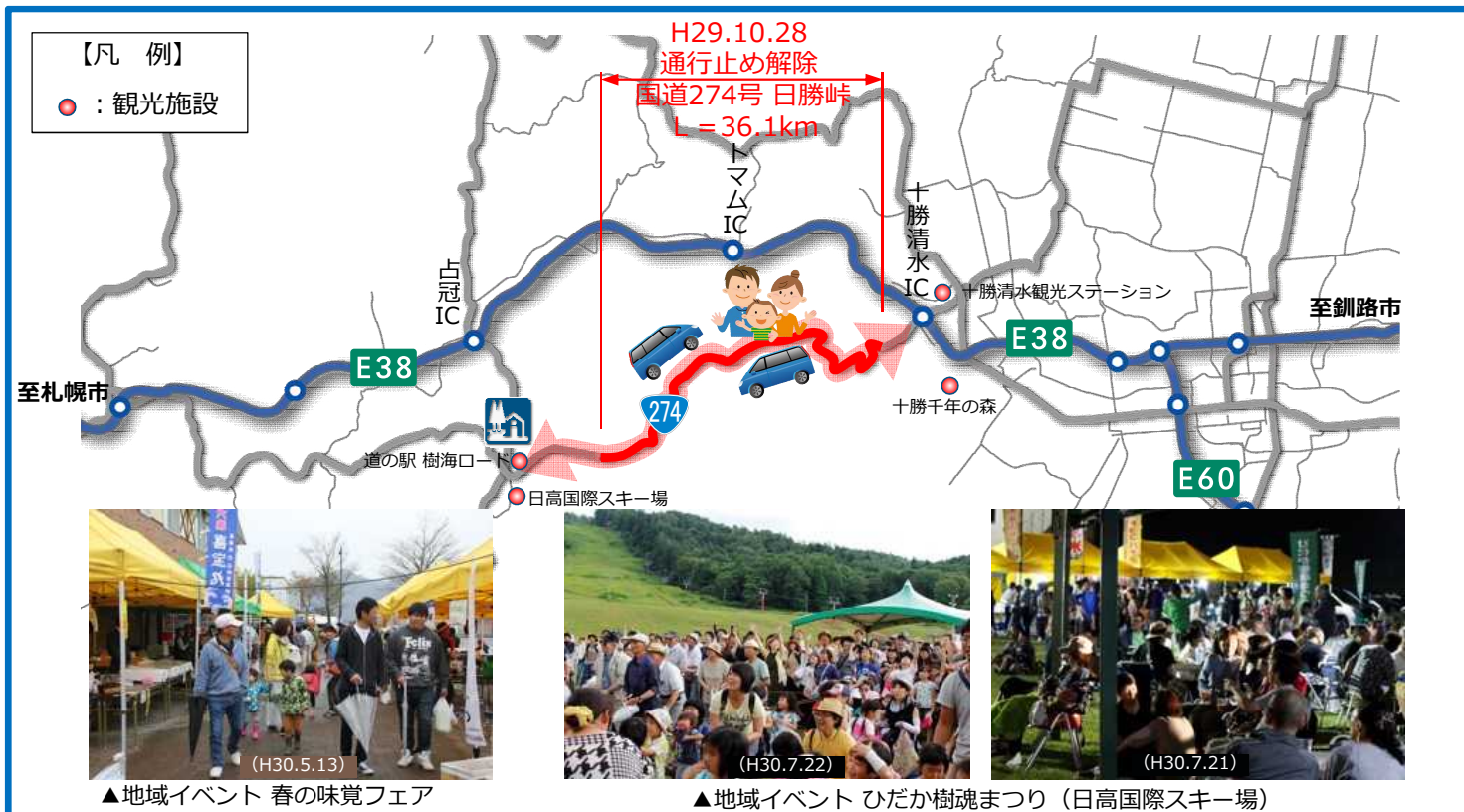


声

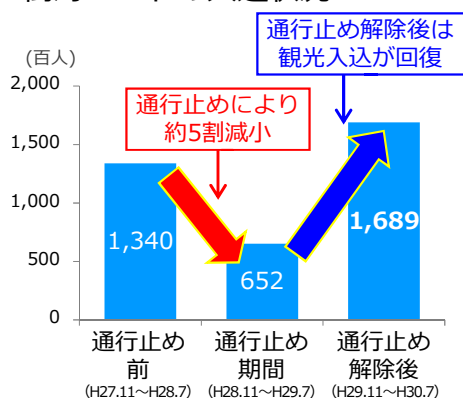
- ・ 国道274号日勝峠の通行止め期間中に道東自動車道が通行止めになると、国道38号狩勝峠を通行して輸送を行うしかなく、片道で1時間30分程度ドライバーの拘束時間が長くなり、翌日の仕事に影響が出た。日勝峠と道東自動車道の両方が通行できるメリットはとても大きい。【生乳輸送事業者】
- ・ 日勝峠の通行止め期間中は、冬期の悪天候で道東自動車道が通行止めになると国道38号への迂回により苫小牧港の出航時刻に間に合わず、道東エリアからの商品を十勝の当センターに仮置きせざるを得ない事案が複数回発生した。国道274号日勝峠の通行止め解除後は、そのような事はなくなった。【十勝管内物流センター】

地域観光の回復に貢献

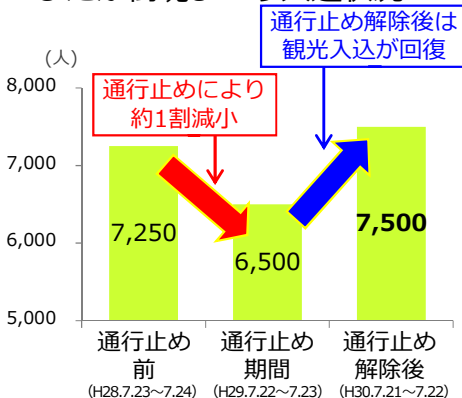
○ 国道274号日勝峠の通行止め解除により、沿線地域の道の駅やイベント、飲食店の入込数が回復、地域観光の回復に貢献。



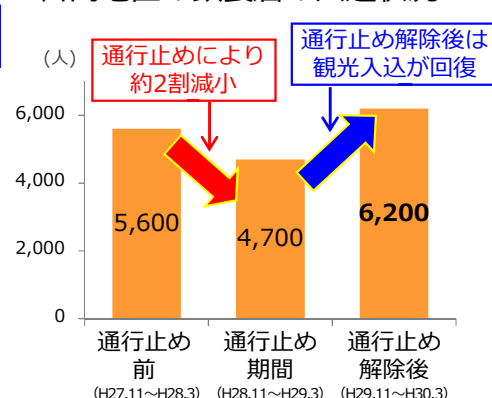
▼国道274号 道の駅 樹海ロードの入込状況



▼日高町 ひだか樹魂まつり入込状況



▼国道274号 日高地区の飲食店の入込状況



声

日高町
日高総合支所

○道の駅や日高町内の飲食店に賑わいが戻り、日勝峠へ向かう観光客も増えていると感じています。

○現在検討している新しい観光企画の推進上、道東自動車道と国道274号日勝峠は非常に重要と考えています。

十勝清水
観光ステーション

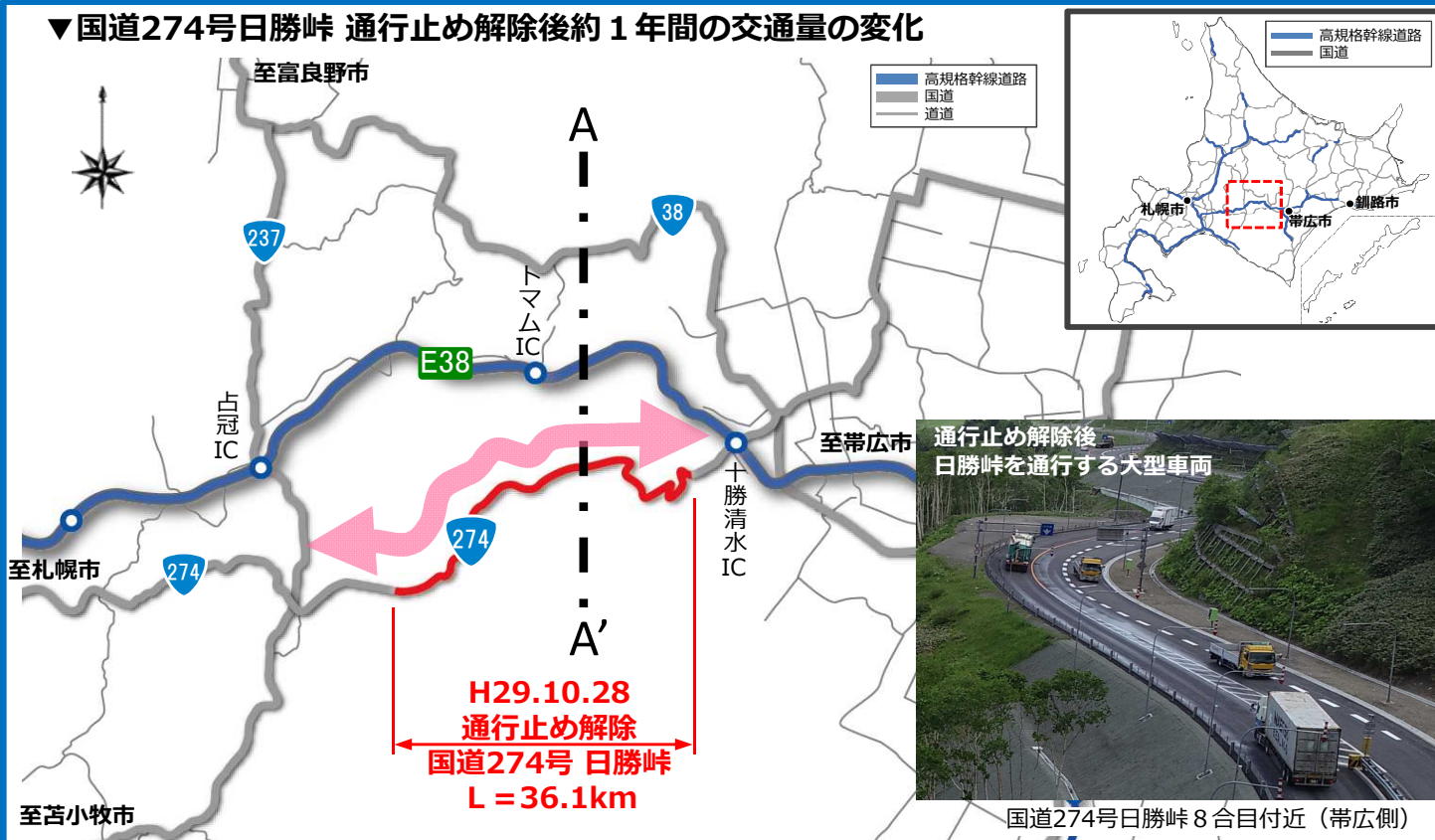
○平成29年度は、観光施設の復旧等はほぼ完了し、秋には通行止め解除となりましたが、入込客数は平成28年度よりやや減少していました。

○平成30年度は、従来の観光入込客数に戻りつつあります。

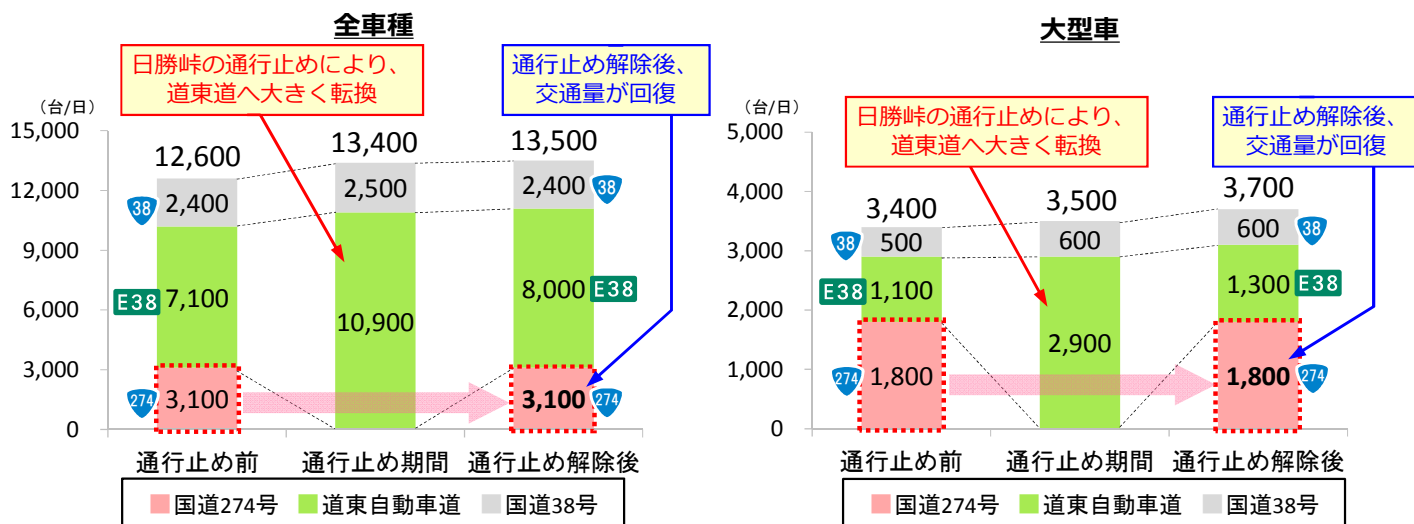
通行止め解除1年後の交通量

- 国道274号日勝峠の通行止めが解除となってから約1年間の平均交通量は、全車種で約3,100台/日、大型車で約1,800台/日。
- 通行止め前(H27)の平均交通量と比較し、同水準に回復。

▼国道274号日勝峠 通行止め解除後約1年間の交通量の変化



▼断面交通量の比較(A - A')



通行止め前 : H27.09~H28.08 <約1年>
 通行止め期間 : H28.11~H29.10 <約1年>
 通行止め解除後 : H29.11~H30.10 <約1年>の日平均交通量
 ※通行止め実施期間 : H28.08.30~H29.10.28